

## ♪ 市制施行50周年記念事業 ♪

2020年7月1日は浦添市50歳の誕生日! 節目を祝い、市全体の機運を高めるため、さまざまな記念事業を行っています。2020年と同じ50周年を迎える名護市とのコラボ企画も実施!

### 9/28 (土) 浦添プログラミングフェスティバル with Deca Dojo



今年4月からプログラミング道場で学んだ小中学校の子どもたちの成果発表会や沖縄県内の各CoderDojoが設置するブースでプログラミング・モノづくり体験などが行われました。体験ブースでは、ボウリングやピンポン玉運びなどユニークなゲームが盛りだくさんでした。

### 10/5 (土) 第55回 沖縄県身体障害者スポーツ大会



浦添市・名護市の選手、役員が、両市のキャラクターを胸付近に並べた特別なユニフォームを着用し出場しました。金メダルを浦添市が6個、名護市が3個獲得し、お互い笑顔いっぱいでお互い交流を楽しむ機会となりました。

### 10/14 (月) 『浦添市VS名護市』古希・還暦野球大会



本大会は、両市から古希各1チーム、還暦各3チームの対抗で4試合を行い、浦添市は4戦4勝の成績でした。選手は日頃の練習の成果を発揮し、野球をとおりて交流を深め、来年名護市での再会を誓っていました。



### 10/3(木) 輝くてだこ市民賞 第48号誕生

輝くてだこ市民賞の表彰式および記念品の授賞式が市長応接室で行われました。48人目の受賞者は、浦添工業高校3年の儀間 梨々香さん。儀間さんが通う浦添工業高校は、7月30日～8月2日に北海道・東川町を中心として開催された「第26回全国高等学校写真選手権大会(写真甲子園2019)」で、九州・沖縄ブロック代表として出場し、見事準優勝を果たしました。また、大会で最も創造的な一枚が選ばれる個人賞「キャノンスピリット賞」に432枚の中から儀間さんの写真が選ばれました。

今後の目標について「今まではスナップ写真を中心に取り組んできたが、今後は自分の中の感性で表現した写真を撮っていききたい」と笑顔で話してくれました。



### 10/15(火) 届け平和のメッセージ

浦添城跡内にある浦和の塔前で、第73回浦添市戦没者追悼式が行われました。毎年10月に行われる同追悼式では、浦添市遺族会をはじめ、世代を超えて平和を考える日とするために、中学生平和交流団も参列し、御霊が安らかに、そして二度と戦争のない世界にと平和を願い祈りを捧げました。

松本市長は「悲惨な戦争の記憶を風化させることなく、次の世代に語り継ぐことが私たちの責務」とあいさつし、中学生平和交流団が「今の沖縄が永遠に続くよう、僕たちで大人、子どもたちに伝えたい」と平和のメッセージを朗読しました。参列者は時代の移り変わりを感じながら、改めて恒久平和を誓いました。



### 10/1(火) 待望のモノレール 浦添の町を走り出す

モノレール延長開業を祝おうと多くの市民及び関係者らが集まったてだこ浦西駅。セレモニーを経て、カウントダウンが始まり、午前5時39分拍手と歓声、カメラのフラッシュを浴びながら、始発とともに浦添にモノレールが走り出しました。

一番切符を買うために並んだ列の先頭の人、「一番乗り」と手書きで書いた紙を持ち開業2日前から並んだ。一番乗りすることを何年も前から決めていた。この日を、心待ちにしていた」と話し、笑顔を見せました。

始発以降も通勤や通学のため駅に訪れる人も多く見られ、みんな口をそろえて「便利になってうれしい」と、モノレール開業を喜びました。



### 10/1(火) てだこホールの名称が変わります

AIM・ユニバース てだこホール正面口でネーミングライツ記念セレモニーが行われました。オープニングアトラクションでは大平保育所の園児による元気いっぱいなダンスが披露され、にぎやかな幕開けとなりました。

AIM・ユニバースの藍川代表取締役は、「AIM・ユニバース てだこホールは世界を目指すてだこホールへと生まれ変わります。世界へ向けて芸術・文化・伝統を発信できるよう浦添市と共に、私たちも一生懸命努力していきたい」と述べました。

最後は、関係者による除幕式が行われ、拍手とともにてだこホールの新たなスタートを祝いました。



### 9/27(金) 消防団、日頃の訓練成果を披露

中部地区の「消防団消防操法大会」が沖縄県消防学校(中城村)で開催されました。大会では、火災が発生したと仮定した目標物に向けて消火活動を行い、集合から撤収までの一連の動作を「いかに早く、正確に、規律良く」できるかを競います。

消防団は、会社員、学生、主婦など本来の仕事や学業を持ちながら、消防団員として活動をしています。今回、大会に出場した浦添消防団員の中で最年少の金城 慧さん(19歳)は、「現在、救急救命士の専門学校に通っていて、夜間に訓練や活動に参加しています。今後もさまざまな形で防災活動に関わりたくです」と、これからの目標を語りました。

話題がいっぱい!  
なかゆくい